

パソコンによるブラウスのデザインとパターン自動作成システムの開発
(第1報) スカートとの組合せデザインと基本スタイルパターンの作成
三重大教育 増田智恵

【目的】パソコンによる婦人服のデザインとパターン作成システムの構築を試みているが、原型、スカートは既に行い、本報ではブラウスを取り上げた。近年コンピュータによるアパレルCADが利用されているが、これらは専門家を対象としており、また価格的にも一般の学校教育や中小企業では導入は難しい。本研究では、初心者でも学習しながら婦人服の設計ができるシステムを廉価で提供できることを目指している。衣服をデザインまた選ぶ過程を支援し、さらにパターン作成を導けるためのAI的要素を加え、エキスパート的システムの充実を図った。第1報では、形と色・柄についてスカートとの組合せデザインを想定し、これに基づいて基本スタイルのブラウスパターンを、対話方式で学習しながら容易に作成できるシステムを開発した。

【方法】パソコンの機器構成は、NEC PC9800シリーズ、イメージスキャナ(NEC PC-IN502)、プロッタ(GRAPHTEC GP2001)である。デザインシステムでは、モデルのブラウスとスカートの形(4)色・柄(64)を色々に組合せ、実際の着装を設定してデザインを学習、決定する。パターン作成システムでは、身頃、袖、衿の基本スタイルをもとにパターンをデザインし、自動製図する。

【結果】1.デザインシステムでは、ブラウスとスカートとの組合せで形と色・柄を実際にモデルに着装した状況が、短時間に多種類想定可能となり、適切なデザインの学習と決定ができた。また、教育では次の製作過程に意欲を持たせることに有効ではないかと考えられる。2.パターン作成システムでは、基本スタイルにデザインを加えることで、初心者にもバリエーションのあるパターン作成が容易にできた。これはパターン作成の分析を行い、学習機能や知識の提供を導入しているためと判断できる。